



2019年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年8月13日

上場会社名 株式会社 ケアネット 上場取引所 東
 コード番号 2150 URL http://www.carenet.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤井 勝博
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理本部長 (氏名) 深澤 郁 TEL 03-5214-5800
 四半期報告書提出予定日 2019年8月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期第2四半期の連結業績（2019年1月1日～2019年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第2四半期	1,362	△4.1	237	△0.7	227	6.4	143	9.4
2018年12月期第2四半期	1,420	12.4	239	15.8	213	5.7	131	△23.3

(注) 包括利益 2019年12月期第2四半期 △48百万円 △136.7% 2018年12月期第2四半期 132百万円 (△22.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第2四半期	13.52	—
2018年12月期第2四半期	12.18	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年12月期第2四半期	2,666	2,064	77.2	194.18
2018年12月期	3,020	2,250	74.3	209.95

(参考) 自己資本 2019年12月期第2四半期 2,059百万円 2018年12月期 2,245百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期	—	0.00	—	6.00	6.00
2019年12月期	—	0.00	—	—	—
2019年12月期（予想）	—	—	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2019年12月期の連結業績予想（2019年1月1日～2019年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,100	6.8	500	6.5	482	10.6	292	10.9	27.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年12月期2Q	11,048,000株	2018年12月期	11,048,000株
② 期末自己株式数	2019年12月期2Q	442,347株	2018年12月期	351,347株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年12月期2Q	10,632,943株	2018年12月期2Q	10,796,122株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、作成日現在において入手可能な情報に基づいて算定しております。今後の経済状況等の変化により、実際の業績は異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費や民間企業の設備投資などの国内需要も持ち直しており、景気は緩やかに回復しておりますが、通商問題の動向が世界経済に与える影響や、中国及びアジア新興国等の経済の先行き、政策に対する不確実性による影響、金融資本市場の変動の影響等に対し、先行きは不透明な状況にあります。

当社グループの主要顧客が属する製薬業界においては、大型薬剤の特許切れや薬価制度の変更、ジェネリック医薬品の使用促進などに直面し、製薬企業の営業環境は、厳しい状況が続いております。そのため、製薬企業は、新薬の研究開発や営業・適正普及活動において、さらなる生産性向上を求めています。また上市される新薬の中心が、生活習慣病治療薬からスペシャリティ医薬品に移り変わるなかで、製薬企業はスペシャリティ医薬品に合った新たな適正普及支援を必要としております。

なお、厚生労働省が策定した「医療用医薬品の販売情報提供活動に関するガイドライン」が2019年4月に施行されたことに伴い、当社の主要な取引先において、審査及び新規案件の意思決定に若干の遅れが発生し、当第2四半期連結累計期間の当社の受注に対し影響が出ております。

この結果、当第2四半期連結累計期間においては、売上高1,362百万円（前年同四半期比4.1%減）、売上総利益911百万円（前年同四半期比5.0%増）、営業利益237百万円（前年同四半期比0.7%減）、経常利益227百万円（前年同四半期比6.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益143百万円（前年同四半期比9.4%増）となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

① 医薬営業支援サービス

当サービスにおいては、既存サービスの販売体制強化及び販売管理費のコスト削減や効率化等の諸施策などの取り組みを進めるなか、医薬営業支援サービスの売上高は1,181百万円（前年同四半期比3.6%減）、営業利益は593百万円（前年同四半期比15.6%増）となりました。

② 医療コンテンツサービス

当サービスにおいては、医師向け教育コンテンツ「ケアネットDVD」及び「その他」の売上高は63百万円（前年同四半期比25.4%減）、医療教育動画サービス「CareneTV」の売上高は118百万円（前年同四半期比6.9%増）となりました。

この結果、医療コンテンツサービスの売上高は181百万円（前年同四半期比7.2%減）、営業利益は35百万円（前年同四半期比51.0%減）となりました。

また、医師・医療従事者向け医療専門サイト「ケアネット・ドットコム（CareNet.com）」においては、医師会員獲得及び維持を目的に、前期に引き続き積極的に投資を行っております。これにより、当第2四半期連結会計期間末の医師会員数は14万9千人（前年同四半期比5.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ354百万円減少の2,666百万円となりました。

流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ276百万円減少の2,032百万円となりました。これは主に、現金及び預金120百万円、受取手形及び売掛金133百万円の減少によるものであります。

また、固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ78百万円減少の634百万円となりました。これは主に、投資その他の資産76百万円の減少によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ167百万円減少の602百万円となりました。

流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ167百万円減少の588百万円となりました。これは主に、未払法人税等71百万円、役員賞与引当金42百万円の減少によるものであります。

また、固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べ0百万円減少の14百万円となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ186百万円減少の2,064百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金193百万円の減少によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ120百万円減少の1,381百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、173百万円（前年同四半期は164百万円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益227百万円の計上、ポイント引当金の増加31百万円、売上債権の減少133百万円などによる資金の増加と、役員賞与引当金の減少42百万円、未払金の減少62百万円、法人税等の支払額155百万円などによる資金の減少との差引によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により支出した資金は、154百万円（前年同四半期は4百万円の支出）となりました。これは主に、投資有価証券の取得による支出90百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により支出した資金は、137百万円（前年同四半期は99百万円の支出）となりました。これは、自己株式の取得による支出73百万円、配当金の支払額63百万円によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年12月期第2四半期連結累計期間の業績予想につきましては、2019年5月13日に公表いたしました業績予想と差異が発生しております。詳細は2019年8月13日公表の「第2四半期連結累計期間の業績予想と実績との差異に関するお知らせ」をご参照ください。また、2019年12月期通期連結業績予想につきましては、2019年2月13日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

なお、将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,602,361	1,481,749
受取手形及び売掛金	558,107	424,240
たな卸資産	18,719	38,585
前払費用	64,240	57,957
その他	64,932	29,568
流動資産合計	2,308,360	2,032,100
固定資産		
有形固定資産	16,949	17,139
無形固定資産	38,643	37,040
投資その他の資産	656,849	580,134
固定資産合計	712,443	634,313
資産合計	3,020,804	2,666,414
負債の部		
流動負債		
買掛金	47,592	28,945
未払法人税等	155,765	84,211
前受金	3,828	13,151
役員賞与引当金	42,663	—
ポイント引当金	313,206	344,207
その他	192,338	117,570
流動負債合計	755,394	588,087
固定負債		
資産除去債務	14,912	14,280
固定負債合計	14,912	14,280
負債合計	770,306	602,367
純資産の部		
株主資本		
資本金	627,045	627,045
資本剰余金	551,182	551,182
利益剰余金	1,073,084	1,152,703
自己株式	△208,150	△281,822
株主資本合計	2,043,162	2,049,109
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	206,723	13,555
為替換算調整勘定	△4,113	△3,258
その他の包括利益累計額合計	202,610	10,297
非支配株主持分	4,724	4,639
純資産合計	2,250,497	2,064,046
負債純資産合計	3,020,804	2,666,414

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
売上高	1,420,562	1,362,875
売上原価	552,711	451,734
売上総利益	867,851	911,141
販売費及び一般管理費	628,511	673,434
営業利益	239,339	237,707
営業外収益		
受取利息	239	319
受取手数料	2,000	—
雑収入	2,353	2,343
営業外収益合計	4,592	2,662
営業外費用		
支払利息	77	142
為替差損	3,603	3,809
貸倒引当金繰入額	25,882	7,895
雑損失	370	769
営業外費用合計	29,933	12,616
経常利益	213,998	227,753
税金等調整前四半期純利益	213,998	227,753
法人税、住民税及び事業税	96,042	74,187
法人税等調整額	△13,487	9,853
法人税等合計	82,554	84,040
四半期純利益	131,443	143,713
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△85
親会社株主に帰属する四半期純利益	131,443	143,798

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	131,443	143,713
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	219	△193,167
為替換算調整勘定	593	855
その他の包括利益合計	813	△192,312
四半期包括利益	132,256	△48,599
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	132,256	△48,513
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△85

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	213,998	227,753
減価償却費	15,169	14,466
貸倒引当金の増減額(△は減少)	25,882	7,895
受取利息及び受取配当金	△239	△319
支払利息	77	142
為替差損益(△は益)	3,603	3,809
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△51,784	△42,663
ポイント引当金の増減額(△は減少)	31,564	31,000
売上債権の増減額(△は増加)	150,326	133,866
たな卸資産の増減額(△は増加)	△5,855	△19,865
仕入債務の増減額(△は減少)	△22,848	△18,645
未払金の増減額(△は減少)	△38,280	△62,378
未払消費税等の増減額(△は減少)	△30,742	△12,236
未払費用の増減額(△は減少)	△59,626	△7,852
前受金の増減額(△は減少)	△89,702	9,323
その他	92,322	64,961
小計	233,865	329,258
利息及び配当金の受取額	250	335
利息の支払額	△77	△142
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△69,298	△155,759
営業活動によるキャッシュ・フロー	164,740	173,691
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	—	△90,800
有形固定資産の取得による支出	△1,510	△3,821
無形固定資産の取得による支出	△2,808	△7,605
差入保証金の回収による収入	—	1,456
その他	—	△53,316
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,318	△154,085
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△34,981	△73,671
配当金の支払額	△64,446	△63,561
財務活動によるキャッシュ・フロー	△99,427	△137,233
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,013	△2,984
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	57,980	△120,612
現金及び現金同等物の期首残高	1,700,485	1,502,361
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,758,466	1,381,749

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 2018年1月1日 至 2018年6月30日）

(1) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医薬営業 支援サー ビス	医療コン テンツ サービス	計		
売上高					
外部顧客への 売上高	1,224,897	195,665	1,420,562	—	1,420,562
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,224,897	195,665	1,420,562	—	1,420,562
セグメント利益	513,486	73,355	586,841	△347,502	239,339

(注) 1. セグメント利益の調整額△347,502千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用（報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費）であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自 2019年1月1日 至 2019年6月30日）

(1) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医薬営業 支援サー ビス	医療コン テンツ サービス	計		
売上高					
外部顧客への 売上高	1,181,202	181,673	1,362,875	—	1,362,875
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,181,202	181,673	1,362,875	—	1,362,875
セグメント利益	593,825	35,946	629,772	△392,065	237,707

(注) 1. セグメント利益の調整額△392,065千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用（報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費）であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（重要な後発事象）

当社は、2019年6月19日開催の取締役会において、以下のとおり子会社を設立することを決議し、2019年7月1日付で子会社を設立いたしました。

（1）設立の目的

当社は、医師に対し最新の情報を提供する専門メディアとしてのビジネスを展開するなかで、近年、技術進歩による専門性の細分化、働き方の見直しによる効率性の追求など医師を取り巻く環境は大きく変化しています。設立子会社は、当社と役割を補完し合うことで、新しい時代に合った医師が必要とするコミュニケーションの創出を図る為、医師間で情報発信するコミュニティの運営をビジネスとする新しいモデルの開発を目的として設立いたしました。

（2）設立する子会社の概要

① 名称	株式会社アスクレピア
② 所在地	東京都千代田区九段南一丁目5番6号
③ 事業の内容	医師向けオンラインコミュニティ事業
④ 資本金	50,000千円
⑤ 設立の時期	2019年7月1日
⑥ 取得する株式の数	500株
⑦ 取得価額	50,000千円
⑧ 出資比率	当社100%